



平成20年2月1日

各位

会社名 株式会社ネプロジャパン
代表者名 代表取締役社長 金井 孟
(JASDAQ・コード9421)
問合せ先
役職・氏名 取締役管理本部長 大瀧 秀樹
電話 03-6803-3970

データセンター向け無線 LAN 位置検知システム及び
Click to Call ソリューション共同開発に関するお知らせ

記

当社の連結子会社である株式会社モバイル・テクニカは、株式会社野村総合研究所とデータセンター向けに無線 VoIP システムと連携した位置検知システム、及びネットワーク障害発生時の連絡先への電話発信業務を迅速に行うための Click to Call (クリック・ツー・コール) ソリューションを共同で開発しました。

別紙の通りリリースを行いましたのでお知らせいたします。

なお、本件が平成20年3月期の当社業績に与える影響は、現時点では軽微であります。

以上

2008年1月31日
株式会社モバイル・テクニカ
株式会社野村総合研究所

モバイル・テクニカと野村総合研究所が
データセンター向け無線 LAN 位置検知システムおよび
Click to Call ソリューションを共同開発

株式会社モバイル・テクニカ（本社：東京都新宿区、代表取締役：根本寿和、以下「モバイル・テクニカ」）と、株式会社野村総合研究所（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：藤沼彰久、以下「NRI」）は、データセンター向けに無線 VoIP^{*1} システムと連携した位置検知システム、およびネットワーク障害発生時の連絡先への電話発信業務を迅速に行うための Click to Call（クリック・ツー・コール）ソリューションを共同で開発しました。

災害時の事業継続対策や、セキュリティの強化、運用のアウトソーシング化の進展などによってデータセンターの需要が高まる中、データセンターではサーバやストレージ機器をはじめとする IT インフラの仮想化・統合化、グリーン IT^{*2} の推進、無人化による高効率運用の実現などが重要な課題となってきました。無人化の実現には、遠隔操作によってデータセンター入館者の業務をリアルタイムで支援し、ネットワーク障害が発生したときに瞬時に必要な連絡先に連絡できるシステムが求められてきました。これらの課題を解決するため、NRI のノウハウを活用し、モバイル・テクニカの SIP^{*3} 技術と NRI のワイヤレス技術を組み合わせて、位置検知システムと Click to Call ソリューションを開発・製品化しました。この度の位置検知システムと Click to Call ソリューションの概要は以下の通りです。

【位置検知システム】

データセンターはセキュリティ上、携帯電話を持ち込むことができないことが多く、また建物が外部と遮断されているため携帯電話の電波が届かず、入館者の所在地がわからない、緊急で連絡がとれないなど連絡面で支障がありました。また入退室管理システム、監視カメラだけでは、個別のラックへの不正アクセスといった詳細な検知が困難でした。そこで、データセンターの入館者が利用する電話を無線 VoIP 端末にし、その接続情報をもとに、端末・入館者の位置情報(エリア)を PC 画面上に表示できるようにしました。入館者用の貸出し端末を管理する端末管理者は、マッピングされた入館者の位置、端末の所在を Web ブラウザから監視することができます。さらに表示されたアイコンをクリックすることで会社名、部署、氏名などの詳細な属性情報を表示することができます。

リアルタイムで位置情報を表示するだけでなく、接続したアクセスポイントのログが

ら所在ログを証跡として取得することで、セキュリティ面での管理も可能です。また、端末の所在検知のほか、臨時に貸し出す端末の予約管理機能もサポートしています。将来的には、表示されたアイコン・電話番号からのクリック発信、不正エリア侵入の検知、無線 LAN システムとの API (Application Program Interface) 連携による XY 軸情報でレイアウト上への物理的な位置表示を予定しています。

なお、無線 VoIP 端末は、モバイル・テクニカ製「MobbyTalk253 (モビートーク 253)」をはじめ各種主要無線 IP 端末をサポート、無線 LAN システムは同分野で高度なソリューションを提供しているアルバネットワークス社製無線 LAN システムに対応しています。

【Click to Call ソリューション】

ネットワーク監視システムに、システム担当者などへのクリックコールを連携させた Click to Call ソリューションです。ネットワーク障害が発生した場合、連絡先一覧が表示され、対象連絡先をクリックすることで瞬時に電話発信することを可能としました。これにより、ネットワーク監視チームの電話発信業務の負荷を大幅に削減、運用の効率化を図るとともにシステム担当者や関係者への連絡時間を短縮し、障害の迅速な判断／対策検討など障害を早期に収束することに寄与します。

本ソリューションは、IP 電話システムだけではなく、非 IP の既存端末でも対応可能であることが特徴です。また、障害発生時の連絡先用システムとして開発していますが、WEB ページの電話番号をそれが電話番号であることを認識する構文解析エンジンにより、自動的に電話番号をリンク化し Click to Call を実現する機能も合わせてサポートしているため、データセンターだけではなく一般オフィスや他業種での業務の効率化も期待できます。

また、今回の位置検知システムおよび Click to Call ソリューションの共同開発に合わせて、2008 年 2 月より、データセンターのほか、工場、倉庫、ホテル、病院などをターゲットにこれらのソリューションを販売いたします。

- ※ 1 VoIP : Voice over Internet Protocol。音声を符号化して圧縮し、パケットに変換したものを IP ネットワークでリアルタイム伝送する技術。
- ※ 2 グリーン IT : 環境保護に配慮した IT 化の取り組み。特に、データセンターを中心とする省電力化や熱対策の取り組みを指すことが多い。
- ※ 3 SIP : Session Initiation Protocol 。2 つ以上の相手に対して、インターネット電話などで用いられる音声や映像、テキストメッセージの交換などを行う際に必要なセッションを確立するためのプロトコル。

【ニュースリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社モバイル・テクニカ 営業部 広報担当 佐藤

TEL : 03-5225-1626 Fax : 03-5225-1855

株式会社野村総合研究所 広報部 潘、瀬戸

TEL : 03-6660-8370 E-mail : kouhou@nri.co.jp

【サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社モバイル・テクニカ 営業部 広報担当 佐藤

TEL : 03-5225-1626

株式会社野村総合研究所 基盤サービス事業本部 ネットワーク基盤二部 橋本、南

TEL : 03-5201-9256

【ご参考】

【株式会社モバイル・テクニカについて】

株式会社モバイル・テクニカは2004年11月創業以来、ユビキタス・ユニファイドコミュニケーションに向けたソフトウェア/ハードウェアの開発、製造、販売を行っています。これらの製品は提携企業向けへのライセンス提供、OEM提供として広く使われております。また、自社オリジナル機器として、IPコミュニケーションサーバ「xCube（クロスキューブ）」を始めとし、無線IP電話機「MobbyTalk（モビートーク）」、関連ソフトウェアモジュールなど、先進的な技術や製品群を顧客ニーズに添って提供しており、企業規模を問わず、企業の生産性向上や、ITインフラの最適効率化を実現します。モバイル・テクニカに共通する設計指向は柔軟かつ拡張性に高いことであり、オープンソースを積極的に採用、公開し開発を行っています。

関連 URL : <http://www.mobiletechnika.jp/>

【株式会社野村総合研究所について】

野村総合研究所（NRI）は、1965年に日本初の民間シンクタンクとして誕生して以来長年にわたり、企業戦略の提案や政策提言、システム開発・運用を行ってきました。そして、新しい社会のパラダイムを洞察し、その実現を担う「未来社会創発企業」として、企業の経営革新、公共セクターへの政策提言、資産運用 ビジネス支援等を行う「コンサルティング・ナレッジサービス」と、システム・インテグレーションやアウトソーシングサービス、共同利用型システム等の提供を行う「システムソリューションサービス」の2つの事業により、問題発見から問題解決までのトータルソリューションを提供しています。

関連 URL : <http://www.nri.co.jp>